

お元気ですか

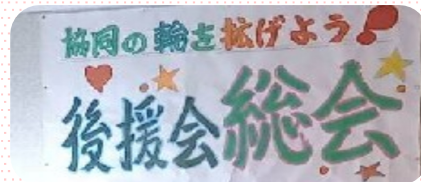
日本共産党桜井市後援会ニュース

第
160
号

日本共産党桜井市後援会
桜井市栗殿588-7 かじ結花事務所
電話/FAX : 0744-46-4930
mail : yuikaji-jcp@kcen.jp

活動方針の決定と世話人を選出

10月14日に日本共産党桜井市後援会の総会が約30人の参加で開催され、新たな活動方針を決定し、世話人を選出しました。



総会では吉田会長が2006年の後援会結成の経過に触れ、4月の市議選でかじ結花議員が高位当選を果たし議席を引き継ぐことができた、次の衆院選で日本共産党の躍進を勝ち取り、物価高騰と低賃金で苦しむ市民の暮らしと平和を守ろうと呼びかけました。

かじ議員は熱っぽく議会報告

鍛冶結花議員は後援会をはじめ多くの支援で「最後まで楽しく選挙戦をたたかうことができた」と感謝の言葉を述べました。そして、「議員として新しくスタートした」と述べ、公立保育所の老朽化問題、学校給食の無償化、後期高齢者の医療保険料引き下げ等の議会質問を詳しく報告。



提案をもとに参加者が自由に意見交流

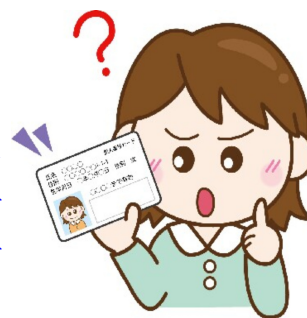
世話人会から経過報告と活動方針案、新たな世話人等についての提案があり、総会参加者による自由な意見交流の場では、8人の方から発言がありました。

○市議選挙では選対会議にも加わり、若い人たちと一緒にアナウンサーもした。女性候補でもありとても新鮮に感じた選挙戦だった。見事バトンを渡すことができよかった。

マイナンバーと保険証問題に多くの意見

○マイナンバーと健康保険証と紐づけられれば、紙の保険証が使えなくなるのか不安。マイナカードを作らないとどうなるのか。

○保険証が発行されないと保険料を払えなくても相談に行く手段もなくなる。医療機関にかかれない人を救う手だてもなくなる。3年ぶりに秋祭りをするのでご参加を。



○国保税を払っているのに、医療機関にかかれない可能性がある。訴訟も考えている。

○日本共産党以外の他の野党は「国のこと」「県のこと」とすり替えている。

子育て支援や教育、維新政治も話題に

○教育現場は不登校や問題行動、自殺の問題など厳しい現実がある。給食費の無償化や医療費の窓口負担ゼロを桜井市でも前進させたい。本当の意味で子育てにお金をかける市に。

○大阪の「維新」は3つの特徴。1つは市民・府民の分断、2つは公的な財産を民間企業に売り渡す、3つは平気でウソをつく。市バスの駐車場跡地にタワマン、経営者はメトロ。

○何か下心があるのではないかと思って、これまで政府の云う事を聞いたことがない。

【お知らせ】 総会後の世話人会で役員について、会長を吉田忠雄世話人、事務局長を米田雅幸世話人とすることを確認しました。

かじ結花
メール



日本共産党
中央委員会



ガザでのジェノサイドを許すな ーガザ攻撃中止と即時停戦に向けての各国政府への要請

(1) イスラエルの大規模攻撃により、パレスチナ・ガザ地区の人道状況は、「子どもたちの墓場と化し、人々の生き地獄となっている」(ユニセフ)とも言われる深刻な危機に直面している。日本共産党は、この人道的危機を一刻も早く止めるために、各国政府、国際機関が、「イスラエルはガザ攻撃を中止せよ」「即時停戦を」の一点で、緊急の行動を強めることを心から要請する。

(2) この1カ月でガザでは1万人近くが犠牲となり、その4割は子どもと報じられている。わが党は、多数の民間人の命を奪い、甚大な犠牲を強いているイスラエルによる軍事行動を強く非難する。

(3) 今回のガザ危機の直接の契機は、10月7日のハマスによる無差別攻撃にあった。民間人を無差別に殺傷することは国際法違反であり、わが党はそれを強く非難するとともに、人質の即時解放を求める。(略)

(4) 日本共産党は、中東和平のためには、国連の一連の決議でも確認されているように、(1)イスラエルの占領地からの撤退、(2)パレスチナ独立国家樹立を含む民族自決権の実現、(3)両者の生存権の相互承認という三つの原則を踏まえたところを、一貫して主張し続けて

る。国際社会はガザでのジェノサイドを決して許してはならない。

同時に、ガザの深刻な人道的危機の打開は一刻の猶予も許されない。

日本共産党は、「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有する」と宣言し、国際紛争解決の手段としての戦争を永久に放棄した憲法をもつ国の政党として、ガザの深刻な人道的危機を打開するために、各国政府と国際機関が、以下の2点の実現に向けて、緊急の行動をとることを心から要請する。

ーイスラエルは、ガザ攻撃を即時中止すること。
ー双方は、即時停戦のための交渉のテーブルにつくこと。少なくとも人道的休戦を求めた10月27日の国連総会決議を順守した行動をとること。

*紙面の都合で一部省略しています。正式な全文は日本共産党のホームページ等でご覧ください。



太田予定候補も駆けつけていただきました

青く澄み切った晴天のもと、十一月三日に恒例のみかん狩りを行いました。今回は初めての方や子連れでも来られた方もあり、例年よりも多い参加者でミカン狩りを楽しみました。

芋煮やアマゴにも舌づつみ
鍛冶議員の開会あいさつで始まり、みかん狩りの腹ごしらえとして、炭火で焼いたばかりのアマゴや前日から準備した芋煮が振舞われました。また、持参の一品を参加者どうしで交換したりで、席の近い人たちでの会話も弾んでいました。子どもたちも野外でのお昼ご飯を楽しみ、ミカン狩りを満喫するなど元気な姿を見せていました。

好天に恵まれ“みかん狩り”

太田あつし(衆院奈良3区予定候補)さんが参加され、「30年も深刻な停滞を続ける日本経済を日本共産党の経済再生プランで、暮らしに希望が持てるように全力で頑張ります」と訴えられました。



【かじ議員の感想】

娘のお友だちもたくさん参加してくれました。毎日学校で頑張っている子どもたちですが、皆さんに優しくしてもらいながら、アマゴの塩焼きやいも煮を「美味しい美味しい」と喜ぶ姿を見てとても嬉しかったです。子どもたちや皆さんの笑顔や日常の幸せを守るよう頑張ろうと、さらに力を頂きました。

中田みかん農園さんは今年是不作で大変とのことですが、とても美味しかったです！お世話になりました。